

「もがみ」型護衛艦4番艦 命名・進水式 艦名「みくま」

令和3年12月10日（金）、三菱重工業株式会社長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している「もがみ」型護衛艦4番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は晴天に恵まれ、出口佐世保地方総監執行のもと鬼木防衛副大臣、山村海上幕僚長、三島防衛技監、伊藤九州防衛局長、三原長崎防衛支局長、支局員及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々と行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国家吹奏に引き続き、鬼木防衛副大臣が命名書を読み上げ、「みくま」と命名されました。「みくま」は大分県日田盆地を流れる一級河川である筑後川の別名に由来しています。また、この艦名は、旧海軍の重巡洋艦「三隈」、海上自衛隊のちくご型護衛艦3番艦「みくま」に続き3代目になります。

命名式に引き続き、立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、鬼木防衛副大臣が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞い艦番号4「みくま」は進水しました。

「みくま」は令和5年3月就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲自衛艦命名式（防衛副大臣から「みくま」と命名）



◀進水式（護衛艦「みくま」が進水）